

# しんあい

## 季刊

2026年(令和8年)3月20日発行 第137号 ◆編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人  
**多摩同胞会**

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10  
TEL 042-367-8801  
<https://www.tama-dhk.or.jp/>  
をぜひご覧下さい!



2025年12月16日 永年勤続表彰式は各施設をオンラインで結びお祝いしました。

### 泉苑

- ・特別養護老人ホーム信愛泉苑
- ・高齢者在宅サービスセンター 泉苑ケアセンター
- ・府中市地域包括支援センター 泉苑

### 緑苑

- ・養護老人ホーム信愛寮
- ・特別養護老人ホーム信愛緑苑
- ・府中市地域包括支援センター 白糸台あさひ苑

- ・府中市立特別養護老人ホームあさひ苑
- ・府中市立あさひ苑高齢者在宅サービスセンター
- ・府中市地域包括支援センターあさひ苑
- ・府中市高齢者住宅うらら多摩

### 神田事業所

- ・特別養護老人ホームかんだ連雀
- ・併設 定期巡回随時対応型訪問介護事業所
- ・高齢者あんしんセンター神田
- ・千代田区立岩本町ほほえみプラザ
- ・千代田区立かがやきプラザ相談センター

### 児童福祉

- ・母子生活支援施設網代ホームきずな
- ・母子生活支援施設白鳥寮
- ・子ども家庭支援センターしらとり
- ・府中市子ども家庭支援センターたち

◆ 社会福祉法人を考える26

◆ 法人創設80年記念企画  
実践報告会

◆ 2025年度BESTブログI

◆ 施設だより  
「2026年の春めく心」



# 社会福祉法人 を考える 26

## ～ 働き続けるために ③法人のさまざまな休暇や柔軟な勤務制度 ～

理事長 鈴木恂子



前号では子育て支援について掲載しましたが、今回は、離職をしないで働くことを継続できる当法人の諸制度をご紹介します。

治療をはじめ長期に私的な時間が必要なとき離職をせずに仕事を継続するために、法人では職員の意見を踏まえながら就業規則等を都度改正し、さまざまな休暇や柔軟な勤務制度を導入して働きやすい環境を構築してきました。

折しも、2026年4月1日、労働施策総合推進法改正により、治療と仕事の両立支援が事業主の努力義務となります。改正の趣旨は高齢者の就労の増加、医療技術の進歩を背景に病気を治療しながら仕事をすることが増加しており今後とも一層の増加が見込まれるため、事業主としても必要な措置を講じることが求められることによります。

国立がん研究センターなどの調査では、「がんの疑い」と説明を受けた時点で33.3%が離職を検討し、5.7%は確定診断を受けるために専門病院を受診するまでに離職しています。

また、初診から6か月までに離職した人は12.4%、2年後までで離職した人は16.2%です。「周囲に迷惑をかけたくない」「続けられる支援制度がなかった」等が離職の理由です。そして病気休職制度利用者の退職率は37.8%というデータもあります。(令和8年2月全国健康保険協会東京支部健康保険委員研修会資料より)

当法人でも毎年数名の職員が治療のため休職していますが、下記の制度や職場の同僚、上司に支えられてほとんどの方が復職しています。

この紙面は特定社会保険労務士でもある労務人事担当の上野事務長の協力によります。

### ★離職をしないで就労を継続できる法人の制度のいろいろ ※就業規則(正職員に適用)等から引用しています

就業時間	休日・休暇	休職・復職	勤務形態の一時変更	永年勤続表彰														
<p>職員の所定労働時間は1週40時間、1日8時間とし、職員の勤務時間は、1か月単位の変形労働時間制としています。</p> <p>出退勤はICカードで記録し、勤務変更や年休取得、超過勤務申請もすべて勤務管理システムによります。</p> <p>始業時刻は6時30分から19時まで30分きざみで設定しています。たとえば、ご利用者との相談時間に始業時刻を調整して業務を行うことができます。子育て中の職員は、始業時間をずらして柔軟な働き方が可能です。</p> <p>A勤：6：30～16：00 (休憩1.5時間) B勤：7：00～16：00 (休憩1時間) H勤：10：00～19：00 L勤：12：00～21：00</p>	<p>職員の休日の数は、4週8休、法人休暇(年間12日)等を合計し年間125日としています。法人休暇の目的は自己研鑽、リフレッシュとしてできるだけ連続休暇で計画的に活用することを推奨しています。</p> <p>・年次有給休暇は3か月継続勤務し、8割以上出勤した場合3日付与し、勤続6か月で7日付与します。半日及び時間単位の取得も可能です。</p> <p>・時間単位有休は、職員アンケート調査で希望が多かったため、検討し導入しました。</p>	<p>業務外の傷病、特別の事情があり休みが長期に及ぶ場合は休職を命じます。勤続年数により休職期間は異なります。</p> <p>・勤続1年未満：3か月</p> <p>・勤続1年以上3年未満：1年6か月</p> <p>・勤続3年以上：2年</p> <p>※傷病休職の場合は社会保険の申請により傷病手当金が適用されます。</p>	<p>健康上、家族の事情、勉学等の理由により1か月以上常時の勤務が困難な場合、期間を限定して非常勤と同様の勤務形態に変更することができる当法人独自の制度です。</p> <p>具体的な活用</p> <p>傷病休職後の慣らし勤務に活用することが多いです。1日2時間就労から徐々に就労時間を調整して通常の所定労働時間にもどしていきます。資格取得の通学をするためにこの制度を数年に渡り活用した職員もいます。</p>	<p>勤続5年ごとに表彰し、理事長から表彰状と記念品を贈呈します。</p> <p>2025年度の表彰は</p> <table border="1"> <tr><td>40年</td><td>1人</td></tr> <tr><td>30年</td><td>3人</td></tr> <tr><td>25年</td><td>5人</td></tr> <tr><td>20年</td><td>12人</td></tr> <tr><td>15年</td><td>5人</td></tr> <tr><td>10年</td><td>7人</td></tr> <tr><td>5年</td><td>12人</td></tr> </table> <p>の計45人が表彰されました。25年勤続のうち1人は復職して勤務継続しています。</p>	40年	1人	30年	3人	25年	5人	20年	12人	15年	5人	10年	7人	5年	12人
40年	1人																	
30年	3人																	
25年	5人																	
20年	12人																	
15年	5人																	
10年	7人																	
5年	12人																	
	その他の休暇	復職	健康管理	福利厚生														
	<p>・特別有給休暇 結婚休暇、配偶者の出産休暇、慶弔休暇があります。</p> <p>・療養休暇 使用できずに失効する年次有給休暇を20日を上限にして積み立てることができます。私傷病により年次有給休暇をすべて取得してしまったあと更にまだ療養が必要な場合に使用することができます。</p>	<p>いったん自己都合(転職、子育て等)で退職した職員の復職も歓迎しています。勤続年数は退職前と合算して勤続表彰を実施しています。</p> <p>復職した職員には他法人や他の職種で学んだ経験を活かし、職場内の活性化に貢献することを期待します。</p>	<p>・ストレスチェック 法改正以前から50人未満の事業所職員も受診し、事業所ごとの傾向を確認し職場環境の改善に取り組んでいます。</p> <p>・インフルエンザ予防接種 予防接種費用は法人負担で全職員に実施しています。</p> <p>・コロナ禍では、コロナ予防接種を施設内で実施しました。</p>	<p>・あゆみ会 法人職員の互助組織です。慶弔見舞金、入院の見舞金、被災見舞金の支給やクラブ活動補助等職員のコミュニケーションをはかる企画を行う自主活動です。</p> <p>・府中市ではワークびあ府中、千代田区ではゆとりちよだに加入し、多様なプログラムを個人で選択して利用しています。</p>														

### ★左記の法人の制度を活用して治療や療養を乗り越えて仕事を継続している職員のメッセージを紹介します

#### \* 治療と仕事を両立している管理職のXさん \*

毎年受けている職員健診で肺に影が見つかり、追加の検査を受けることになり、かかりつけ医に相談したところ精密検査を受けた方が良いとの助言がありました。その後、施設長と相談し、日程を調整しながら検査機関へ通い、複数の検査を受けることができました。業務への影響を心配しましたが、ガルーンやケアカルテを活用し、新規入所者の調整や申し送り、情報共有を丁寧に行うことで、業務が滞ることはなかったと思います。

さらに、2回の検査入院と、治療薬のテストのための11日間の入院も経験しましたが、法人休や有給休暇を組み合わせながら対応することができました。想定より長い入院となりましたが、会議の集約や進行を係長が代行してくれたおかげで大変助かりました。日頃一緒に働いている仲間の存在の大きさを改めて感じました。体調がすぐれない日もありますが、1～2時間の時間有休を活用しながら、無理のない形で仕事に向き合うことができています。

#### \* 病気による休職後に復職した介護職のYさん \*

3年ほど前に体調をくずし、医師の診断のもと休職をすることになりました。始めは有給休暇や法人休暇を使いながら様子を見ていました。その際には上司が相談にのってくれました。休暇だけでは仕事にもどるのが困難で休職することになったときには、健康保険の傷病手当金の請求についても詳しく教えてもらえました。2年間の休職中は施設長と定期的に連絡をとりながら、復職日を慎重に決めました。そのため安心してゆっくりと身体を休めることができました。

復職後は「勤務形態の一時変更」を使って最初の1か月間は1日4時間勤務で身体を慣らし、その後フルタイムに戻り1年が経ちました。復帰後も施設長には体調の様子をこまめに伝え、今は夜勤は免除してもらい、日勤のみではありますが、仕事を続けることができています。

(資料提供・編集：法人事務局 上野廣美)

# 法人創設80年記念企画 実践報告会(府中地区・神田地区)

創設80年記念事業の一環として、『あきる野市』(しんあい第135号掲載)『府中市』『千代田区』の3地区で、地域別の実践報告会を開催しました。今回は 府中地区、神田地区を実行委員長よりご紹介します。

## 『神田事業所実践報告会』

千代田区神田では、11月14日(金)午後、岩本町ほへみプラザ1階区民ホールで開催しました。当日は、地域にお住まいの方をはじめ、千代田区、社会福祉協議会、福祉・医療機関の関係者など、50名を超える皆さまにご参加いただきました。また、開会にあたり、千代田区長の樋口高顕様からご挨拶も頂戴しました。

今回の神田事業所実践報告会では、「神田の福祉―安心して住み続けるための事業連携―」をテーマに、以下の3つの事例を発表しました。

### 1. 在宅から施設入所に至る連携

報告者… かんだ連雀次長 中村小夜子  
この報告では、区民高齢者住宅にお住まいのご夫婦の事例を紹介しました。地域包括支援センターやケアマネジャー、ご家族と相談しながら、町会、近隣のスーパー、介護保険の居宅サービスなど、多様な関係機関と連携して在宅生活を支援してまいりました。しかし、徐々に在宅生活の継続が難しくなってきたため、関係者で協議を重ね、特別養護老人ホームへの入所へと生活の場を移す方向でご夫婦の決断を丁寧な促し、支援。入所後も、最後まで途切れない支援を行ったケースとして報告しました。

この取り組みは、それぞれの立場や役割を越えて支援者が一つのチームとなり、ご夫婦の生活を支える「地域包括ケア」の実践例となりました。

### 2. 自立した生活の場から老いとも

報告者… ケアハウスいわむち 施設長 永台美穂  
岩本町ほへみプラザ内にあるケアハウスでは、「独立した日常生活にやや不安のある方」を対象としつつ、加齢に伴い支援が必要になった場合でも、入居者が安心して暮らし続けられるような取り組みを行っています。施設や町会イベント、ボランティア活動、デイサービス、ショートステイなど、岩本町の特性を生かした地域資源との連携を活用し、入居者同士が支え合いながら生活を続けられる工夫を紹介しました。また、老いとともに必要となる介護支援や、将来的なケアハウス退居の可能性を見据え、家族やケアマネジャーなど多職種が連携して支援を行った事例も合わせて発表しました。

### 3. 地域共生社会を目指して

報告者… かんだ連雀施設長 峯 俊美  
相談センター神田副業務責任者 岩淵研哉

代同居の児童虐待を含む世帯、「1世帯に複数の要支援者のいる世帯」など複合的に課題を抱えた事例でした。今回は、模擬事例として、4世代の家族に対して、約20年にわたり、地域、民生委員、行政を含む支援機関など、10か所以上の関係者が情報共有し、協働して支援を行ってきた事例を発表しました。どの時期をとっても、単独の機関だけでこの家族の課題解決をすることは難しいことでした。

次に全8回の家族支援情報交換会を振り返りました。交換会実施のきっかけは、法人の70周年記念シンポジウム「地域でつながる―誰もが安心して暮らしていける地域づくりを目指して―」でした。地域の方の抱える課題が複雑化・複合化してきている一方でそれぞれのの方は地域の中で孤立化し課題が見えづらくなっています。高齢・母子など単独の事業では対応しきれない地域課題をどのように受け止め、どこどこがどのように連携して解決に向けた支援を組み立てることができているかを考える必要があることに思い至りました。民生委員・行政・社会福祉協議会と法人職員が共有・相談できる関係を作ること、そして、その中で「生活を

国が掲げる「地域共生社会の実現」に向け、かんだ連雀(施設)を拠点とした地域支援のボランティア団体「すみれ会」を立ち上げました。報告では、地域課題である高齢者の買い物支援に対し、すみれ会の活動に協力くださる個人、学生、企業のボランティアさんとマッチングする取り組みを紹介しました。こうした連携により、地域で支え合う仕組みが実際に形となってきている事例です。一方で、多くの地域を抱える「担い手不足」の問題は依然として深刻であり、地域共生社会の実現に向けてはなお多くの課題が残されていることも現状です。こうした課題に向き合いながら、地域と共に歩み、取り組みを進めていくことの重要性を改めて示す実践事例となりました。

ご参加いただいた皆さまは、発表にうなずきながら耳を傾けられ、熱心にメモを取る姿が多く見られました。アンケートでは、法人や神田事業所への期待の声も多く寄せられ、地域の皆さまへの感謝の思いを改めて強くいたしました。いただいたお声を励みに、今後もより一層努力してまいります。これからも、どうぞよろしく願っています。

(かんだ連雀施設長 峯 俊美)

支援する」を考慮することを情報交換会の目的としました。

解決が難しい課題を抱えた家族支援は1人の相談員、1か所の相談機関ではどうすることもできません。様々な問題を多くの視点から見つづきを共有してきたことや、地域の困りごとを高齢や児童の相談機関へつなげることを担っている民生委員の皆様と日ごろから情報を共有し、時には同行訪問など、様々な連携のもと活動を進めてきたことが、関係機関も巻き込んだ家族支援、生活支援へとつなげられていると感じています。

参加した皆様からは終了後に評価コメントやご意見をいただきました。地域の皆様の「いつもと何かが違う」という気づきと専門機関の力がつながることで切れ目のない支援が強固になることを改めて実感しました。この実践報告会が皆様のご協力のもと無事に終了したことに感謝しますとともに、今後とも「家族支援」へのご助言、ご指導をいただきますようお願いいたします。(あさひ苑施設長 比留間 貴)



報告会後の懇談会



実践報告



府中市長ごあいさつ(福祉保健部佐藤部長代読)



報告会後の懇談会



実践報告



千代田区長ごあいさつ

# 施設 だより



## 2026年の春めく心

### 連雀 少し早い春の訪れ

ご利用者のお宅へ訪問をした2月の寒い時期、見事に咲き誇った桜の花が飾られていました。桜の時期としては少し早かったのですが、「この花は桜に似ていますが、何と違う花ですか?」とお尋ねしたところ、「桜の花よ。桜っていうと暖かい時に咲くイメージだから珍しいでしょ?これは、景翁桜っていう寒い時季から咲く種類なのよ」と教えて下さいました。



こんな寒い時季に桜が咲くなんてと驚いていると、「お正月に料亭やお店で飾られたりしているのよ。今が時季のお花だから、綺麗に咲いているでしょ?」と朗らかな微笑みでお話してくださいました。訪問先のご利用者の方々と関わらせて頂く中で、豊富な知識や経験談、季節を楽しむお話を聞かせて頂く事があります。そんな時は私自身も気持ち豊かになるような思いです。この日は見事な景翁桜を見せて頂き、春を感じる素敵な時間を過ごさせていただきました。訪問介護サービス提供責任者

(介護福祉士) 青木美穂

### かかやき 2年目の春を迎える

昨年4月1日、期待と不安が入り混じる中で迎えた入職から、あっという間に1年が経ちました。地域の高齢者の皆さまから寄せられるさまざまな相談や、法人内外での学びを通して、言葉の奥にある思いに耳を傾ける大切さを実感しています。わからないことばかりだった私がここまで歩んでこられたのは、日々支えてくださった周囲の皆さまのおかげです。この春は、感謝の気持ちを忘れず、これまでの学びを力に、より丁寧に人と向き合っていきたいと思っております。ある方は退院後、元気な姿を見せに来てくださいました。その笑顔に、私たちも自然と元気をもらって、日常の大切なひとコマです。



かがやきプラザ相談センター (看護師) 遠藤朝代

### 岩本町 新しい春

私は、まもなく岩本町ほほえみプラザのデイサービスに異動してから2年目の春を迎えます。来たばかりの頃は、「ご利用者全員と」初めまして」という状況でしたが、日々のちよっとした機会を通して、生活のことや家族のこと、ご自身のことなど、感じておられる思いをお聞きする場面が増えてきました。春といえば、物事の終わりや始まりを感じる季節です。ご利用者からも孫がもうすぐ卒業して社会人になる、「この前まで小さかったのに、もうすぐ中学生になる」など、嬉しそうに日々の出来事をお話しいただくことがあります。



デイサービスをご利用いただく時間が、ご利用者みなさまにとって新たな始まりのきっかけとなり、日々を楽しく過ごす一助になればと思っております。通所介護介護員(介護福祉士) 金子明穂

### 夕方まったりモード

[2025年05月25日 (Sun)]

写真は、保育園から帰所してから保育室でもうひと遊びの光景です。テラスに腰をかけ、いつものメンバーで仲良く並んでしゃぼん玉タイム。しゃぼん玉を飛ばし合ったり眺めます。ストローを吹く口がとんがり、とても微笑ましいです。保育室でもブレンダーで野菜作りを始めました。毎日、水やりや成長チェックなどお世話も始まりました。事務所から出て子ども達の姿を見て、ほっこり(\*^^\*)癒し効果抜群です。

(きずな ぼっきー)



### この平和がいつまでも

[2025年08月15日 (Fri)]

今日は、この平和な時代が長く続くことへの「感謝」を思い、私自身の個人的な感謝について書くことにします。

法人で、手続き業務を担当して20年ほどたつのですが、その中でとても暖かな気持ちにさせてもらったことが2回ほどあります。

まずおひとり。大学を卒業し就職されたお子さんの健康保険証を返却される際に、届出用紙に「長い間、子どもがお世話になりありがとうございました」と添え書きがありました。これまで、お子さんが巣立った職員はたくさんいますが、このような感謝の気持ちを書かれた方は一人もおらず、とても感銘を受けました。

もうお一人は、育児休業が明けて復職された際に、「長い期間育児休業給付の手続きをいただき助かった」というお礼のメールがありました。

どちらも制度上のきまりではありませんが、改めて感謝の気持ちが伝わりうれしいものでした。ですので、私も母が亡くなり企業年金の廃止届を提出した際にはそのお礼、借りていた駐車場を解約する際には、契約書に「とても助かった」旨のお礼を添えました。感謝というのは、されるのもするのいいものですね。

(事務局 かえる)



### たち産の おいも豊作です!

[2025年12月03日 (Wed)]

先日、1歳児交流会「はいぼ」にておいもほりごっこをしました。おいものたいそうの音楽に合わせて準備体操をしたあとにみんなでおいもを掘りました。太さや大きさもいろいろでどんなおいもが出てくるかはお楽しみ♪採れたおいもを大事そうに抱えていたり、つるの部分を持ってお散歩のように一緒に歩いていたりみんな楽しそうに遊んでいました。遊んだ後のおいもはお持ち帰りしてもらい、たち産のおいもは売り切れになりました!

(たち やきいも食べたいな)



### トリックオア…なんだっけ?

[2025年10月25日 (Sat)]

もうすぐハロウィンということで、お散歩がてらほほえみプラザ玄関にいるためきさんと、仮装したAさんとで記念撮影をしてきました。

97歳のAさんはハロウィンをご存知ないとのことでしたが、ある言葉を言うのと職員からおやつがもらえると聞き、さっそく練習しています。

「トリックオアトリートですよ」「何?トリ?」「トリックオアトリート」「トリックオア…なんだっけ?」「トリック、オア、トリート」「トリック…、オア、トリートか」ゆっくり発音してやっと見えるようになりました。

ハロウィンまで少し時間があるので、また練習の時間を作らないとですね。

(岩本町ほほえみプラザ Sky)



### 2025年度 BESTブログ I

2007年から1日も欠かさず法人各施設により毎日更新しているブログの一部をご紹介します。(紙面の都合により次号に続きます)

### 泉苑

## 初心を 忘れずに

皆様は春と言ったら何を思い浮かべますか？  
早速、ご利用者にお話を伺ってみました。「桜」、「新緑」、「入学式」など色々な「春」が聞かれました。春は新しい事が始まる気持ち少し明るくなる季節ですね。



私事でありますが、泉苑で働かせていただくと、春で2年目を迎えました。入職してから日々、ご利用者や職員の間、仲間たちに支えられながら、私自身少しずつ成長させて頂いていることを感じています。

これからも初心を忘れず、春の清々しさの様に日々明るく元氣よく皆様のお手伝い出来るよう頑張っていきたいと思っております。これからも皆さまに寄り添い、穏やかに心地よい時間をお届けできるように努めてまいります。

ホーム介護員(初任者研修修了) 田中伸幸

### 緑苑

## おじりんぼさんが 笑ってくれた!!

昨年入所されたY氏。当初は一声かけると眉間にしわを寄せお怒りの表情になり、語気を荒らげ、急に立ち上がったかと思うとふらつきが見られる為、都度制止する状況でした。

ここは「安心できる場所」であることを伝えていくと職員が働きかけ、トイレ誘導等もだいたいスムーズにできるようになりましたが、まだ怒る事もありました。

そんな時、私は子供を怒った時に返されたフレーズを思い出して「親にも怒られたことないの」と連発すると、固い表情から徐々に穏やかな顔になってきました。表情が変化していく中で、人は心も身体も食事や環境・コミュニケーションにより、豊かになることを感じさせてもらいました。

今では、「ニコニコおじさん」とお呼びすると嬉しそうに満面の笑顔になります。その笑顔で私たちもほっこりしています。

ホーム看護係長(看護師) 齊藤律子



### しらとり

## イチゴ一会

今年度、しらとり保育ではイチゴ栽培に挑戦しています。昨年の6月に収穫を終えた後も子どもたちと水やりを続けて約半年、花が咲き始め、子どもたちは「イチゴ食べれる?」とわくわくしています。このまま育てば春ごろに収穫ができる予定です。



思い返せば、始めの頃は職員がお手本を見せながら一緒に水やりをしていましたが、少しずつ自分たちでできるようになり、「次はこっちー」と考えて水やりをしたり、「あまくない!」と声をかけたりする姿が見られるようになりました。イチゴ栽培を通して、子どもたちの成長を感じ、素敵な思い出もたくさんできました。

手探り状態で栽培しているため、甘い実ができるか心配もありますが、子どもたちと一緒にドキドキ・わくわくしながら、栽培も新年度に向けた準備も進めていきたいと思っております。

保育担当(保育士) 阿部泉妃

### たっち

## 子育てをしている 家族のそばに

「たっちの交流ひろばは、小学生になる年の3/31までご利用いただけます」

たっちの交流ひろばは小学生になると利用できないのです。

春は新しい出会いの季節でもあります、お別れも訪れます。なかなか遊びに来られない方も、誕生日にはたっちへ来て誕生日カードに手形か足形をとってきたご家族も多いのではないのでしょうか。



今年度の春休みも今年度でひるばひるの利用が最後になる年長児さん対象に手形プレゼントを実施予定です。

「小学校に行ってもきつとたっちのことを思い出してくれるよね」と子どもたちの顔を思い浮かべながら、スタッフは一つひとつ気持ちを込めて手作りのカードを作成しました。

相談員(社会福祉士) 吉川泰葉

### あさひ苑

## 春、桜並木とともに お健やかに

あさひ苑ホームには60歳代から100歳を超えるご利用者(平均88歳)がお住まいになられています。

「新型コロナウイルス感染症」が5類感染症に位置づけられて2年が経ち、昨年は当施設でも様々なことにおいて制限が緩和されました。地域交流やボランティアの参加、ご家族と一緒に参加できる行事も増えていきます。夏の納涼祭、年末のお餅つきは多くのご家族に参加していただきました。1月には焼き芋大会が行われ、おいしいお芋を味わうことができました。昨年体調を崩され食欲がなかなか戻らなかったMさまは、ご家族のこまめな面会もあってすっかりお元気に生まれ、お食事を召し上げられるようになってきました。

寒い冬の間は窓越しに外の景色を眺めながらの面会でしたが、これからは暖かな春光に満ちた季節になります。ちょっと苑外へ出てお散歩など楽しまれてもいいかもしれません。あさひ苑の周囲は碁盤の目状に整備された道路に沿って桜並木が続く、見事な景観となります。季節を感じながらお健やかに過ごしていただきたいと思います。



春の寒暖差には注意しつつ、ご利用者の体調管理に努めてまいります。

ホーム看護係長(看護師) 及川慶子

### きずな

## そつえん おめでとう!

3月は卒園、卒業の時期ですね。毎年今の時期は子どもも大人も、旅立ちの楽しみや、関わる人の変化、新しい環境への不安などで、それぞれ感じている様子が見て取れます。きずなでも卒園児や卒業生が何名かおり、子どもたちの入所当時から成長を見ている職員は、子どもたちの立派な姿に嬉しく思っております。

そんななか毎年保育では、進級や卒園を迎える子どもたちへ贈り物をしています。今回は写真立てとしても活用できるプレゼントを用意しました。開くと子どもの写真が入っており、飾って見られるようになっていきます。このような写真で、子どもたちの成長を感じられますし、記念として残るため、親子で喜んでくれたら嬉しいですね。

新年度が皆さまにとって、良い1年となりますことを祈っております。

母子支援員(保育士) 山邊優果



## ニュースミニミニ I

### 永年勤続表彰式

#### 〜 神田事業所 〜

## ニュースミニミニ II

### 「みんなで応援」プログラム

#### 〜 しらとり 〜



(岩本町ほほえみプラザ館長 高橋 誠)

千代田区では2018年度から、介護現場を長く支えてきた職員をたたえる永年勤続表彰を行っています。2025年度は従来の10年と20年表彰に加え、新たに5年と30年も対象となりました。

1月29日の式には当法人の candidates 連雀、岩本町ほほえみプラザ、かがやきプラザ相談センターから7名が出席しました。式典では樋口区長が『季刊しんあい』を手に、日頃の働きへの温かい感謝の言葉をくださり、胸がじんわりとなる時間となりました。今回の表彰を力に、これからも地域に寄り添って歩んでいきたいと思



(センター係長 嶋田 歩)

2025年度しらとりでは、Amazon「みんなで応援」プログラムを通して多くの品をご寄贈いただきました。しらとりには、乳児から中高生までの幅広い年齢の子どもたちがいます。

その子どもたちの好きな遊びや興味を持つ本などはさまざまで、すべて揃えるのはなかなか難しいですが、多くの方のお気持ちでミニカーとマットのセットやシルバニアファミリーの人形などのおもちゃや、歴史や科学が学べる漫画・絵本などが届き、子どもたちの遊びがより広がり楽しめるようになりました。子どもたちとともに大事に使ってきたいと思

### ボランティアの御協力ありがとうございます (敬称を省略させていただきます)

赤井あけみ 阿部アヤ子 有本陽子 板垣理恵  
市川榮子 江川昭子 岡田みい子 おはなし夢くらぶ  
梶田佳子 鮎野美千代 川上文子 河津淳子  
菊池和彦 きずなの手・江戸川 久米優平 黄美華  
小林わか子 小柳亜樹子 近藤豊子 白濱朝子  
鈴木奈緒美 すみれ会 相馬礼子 高橋ヤヨイ  
瀧山紀子 谷口知加 テラコヤきずな 中田由香里  
美化tube 古川みつ子 マーマレード 宮沢好子  
三輪孝子 村井福子 弓座恵 渡邊真理子  
中村千代子 長谷川和子 (2025年12月～2026年2月)

### 御寄贈・御寄付ありがとうございます (掲載を可とされた方のみのお名前です)

敬称を省略させていただきます

株式会社 I-ne 大沢良三 木下サーカス株式会社 一般社団法人  
cornerstone I・SHI・ZU・E 齋藤隆 さくらの会 浄土宗八王子組青年会  
一般社団法人全国食支援活動協力会 特定非営利活動法人日産労連  
NPOセンター「ゆうらいふ21」 一般財団法人日本出版クラブ 庭商店  
一般社団法人ハートリボン協会 一般社団法人バンクフォースマイルズ  
末日聖徒イエス・キリスト教会 武蔵府中法人会 株式会社メリーチョ  
コレートカムパニー 山本喜訓 ロクシタンジャボン株式会社 公益財団法人  
オリックス宮内財団 KCJ GROUP 株式会社 株式会社 MTN 公益財団法人  
日本産業退職者協会 カーブス (2025年12月～2026年2月)

### 介護に関するご相談は無料ダイヤルで！

- 泉苑 老後支援 24時間  
☎0120-6540-24
- あさひ苑 福祉にっこり 24時間  
☎0120-2942-24



法人ウェブサイトはこちら



採用情報サイトはこちら



Instagram 更新中



X(旧Twitter)緊急時はこちら

### 編集後記

#### 〜 2026年の春 〜

嵐のラストツアー参加予定のため、健康第一に頑張ります！  
(きずな 山邊優果)

お弁当、お菓子を持って今年はお花見にいきたいです。  
(たつち 大谷千夏)

春の匂いや雰囲気を感じながら飲み物を片手に地元に散歩するのが楽しみです。  
(泉苑 菊嶋希予乃)

一時閉館中の地元の温泉が再開する予定なので、行こうと思っています。  
(緑苑 小俣美保)

暖かな陽気の中、桜の景勝を巡ってみたいです。  
(あさひ苑 千代田俊治)

新しい年度に切り替わるので、心機一転、部屋の模様替えをしたいと思います。  
(かがやきプラザ 曲瀬朋未)

さくらが満開に咲くころに花見に行つてみようと思います。  
(かんだ連雀 保坂美加)

娘と交代で運転して、ドライブに行こうと思います。  
(岩本町ほほえみプラザ 玉城多美子)

夏頃の引越しを目標に、部屋の片づけを進めて行きたいと思っています。  
(しらとり 阿部泉妃)

年度末の慌ただしさで短く感じる春を逃さないように過します。  
(事務局 西郷加代子)

下の子どもが高校生になり、公私ともに節目の春を迎えます。焦らずにひとつひとつ着実に取り組んでいきます。(事務局 青木志乃)

しんあい24号(1994年)から編集に携わって参りましたがここで一区切りとさせていただきます。各施設のいろいろなお知らせを知ることができるよう楽しい季刊誌づくりでした。これからも季刊しんあいを応援させていただきます。

(編集長 上野廣美)